

# カーコーティングは、新車の美しさを10年維持できる。



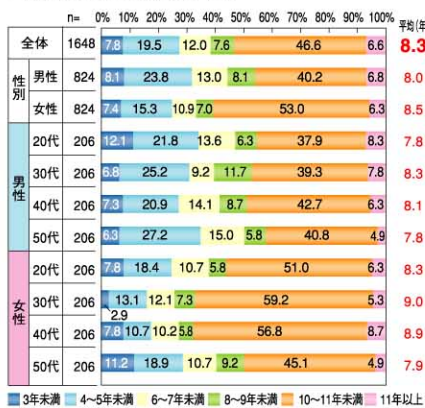
新車コーティングのポイントは「定期的な繰り返し施工を気軽に頼める店舗ですること」

## 新車購入時、「10年乗り続ける」が当たり前前の時代

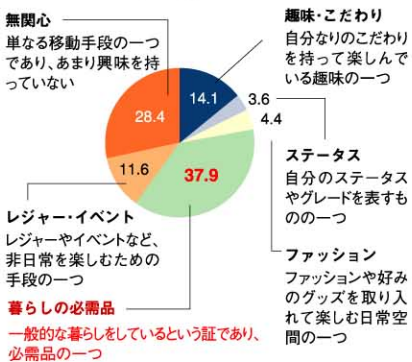
消費者アンケート調査によると「新車を買ったら10年は乗ろう」と考える人が増えてきている。景気の低迷もあるかもしれないが、それよりも生活の中での車に対する価値観が変わってきているのが大きな理由ではないだろうか。かつて車はステータスシンボルであり、ファッションである要素が大きかったが、今では車は生活の一部であり、その人のライフスタイルの一部になりつつある。だから新型車が出て「乗り換えたい」と思う人が減少しているのではないだろうか？

また昔に比べ、車種があまりにも増え、新型車と旧型車の区別がつかず、「似たり寄ったり」になっているのも原因の一つかもしれない。

### ◆ 購入時に考えた乗車予定年数



### ◆ あなたにとって車とは何ですか？



車に10年乗ろうと思う人が増えても、誰も塗装が痛んで古びた車に乗り続けたいとは思わない。いかに塗装を守って「キレイに乗り続けるか」が課題になる。

それを解決するのが正しいカーコーティングなのだ。

## カーコーティングとは「犠牲被膜」となって塗装を守り、愛車を守るもの。

塗装の一番の大敵は紫外線である。(財)塗料検査協会のウェザーサンシャインメーターという塗装の耐久試験がある。特別に強力なキセノンライトを光源として自然界の数十倍の紫外線を均一に塗装板に連続照射し、何年分の紫外線で塗装が劣化するか調べた。その結果、標準的な黒色のソリッド塗装はコーティングなしでは3年から3年半分の紫外線照射で明確な塗装劣化が始まり、目ではっきり見えるほど白亜化し、艶が落ちることが分かっている。

### ◆ 3年分の紫外線照射をした塗装板比較



クリスタルキーパーを施工した塗装板と何もしていない塗装板

クリスタルキーパーを施工した塗装板と何もしていない塗装板に約3年分に相当する紫外線を照射(300時間)。クリスタルキーパーよりも塗装のままの方が劣化していることが目視で確認できる。

カーコーティングはこの紫外線による塗装劣化を明らかに阻止する。紫外線は何らかの物質に当たると急激に拡散するので、塗装の表面をカーコーティングで覆えば、紫外線は塗装に届く前にカーコーティングで拡散する。しかし当然カーコーティング自らは紫外線によって傷む。

つまりカーコーティングとは、塗装を傷める要因である紫外線、酸性雨、走行中の摩擦など

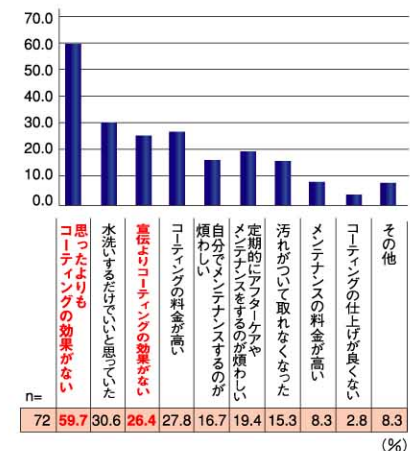
を塗装の身代わりとなって受け、自らが犠牲となって塗装を守るのが役目なのだ。カーコーティングとは「犠牲被膜」なのである。だから定期的に修復するか、定期的に施工を繰り返して入れ替えてやる必要があるのは当然だ。

- ・ポリマー系のピュアキーパーなら約3ヶ月に1度の繰り返し施工で、傷んだコーティング被膜の入れ替えを容易に行うことができる。
- ・ダイヤモンドキーパー・ハイブリッドのようなガラスコーティングならば、初回の施工で作られたコーティング被膜が5年以上の耐久力を持っているので、1年ごとのメンテナンスで、二重被膜の水シミ防止のハイブリッドレジンを入れ替えて、傷んだ被膜の表面を手入れしていく。
- ・クリスタルキーパー・ガラスでは、特殊な方法で入れ替えが効くガラスのコーティングを作り、1年ごとの再施工でガラス特有の透明感溢れる艶を実現しながら、常に良い塗装状態を継続的に維持する。

## 残念ながら、世の中にはコーティングに対する不信感がある

しかしながら、以前に新車購入時のカーコーティングを施工した人の約70%が「思ったより効果がなかった」という不満と不信を訴えている。

### ◆ 新車購入時にコーティングを施工した人の不満点



これは、多くの新車コーティングが、コーティング被膜の定期的な入れ替えが必要であるはずのポリマーコーティングを「ノーワックス」をう

たい文句に施工し、施工後に「メンテナンス」の名の元にほとんどワックスがけに近い作業をユーザーに強いてきたからではないだろうか。

また、この不満を解消すべく登場した各種のボディガラスコーティングも、「水シミ」「ウォータースポット」の問題があってクレームに発展しているケースが多く、世の中全体にコーティングそのものに対する不信が広がっていることは非常に残念なことだ。

## 正しいカーコーティングで10年車を守ることは可能。

カーコーティングで、新車購入時の塗装の美しさを10年以上保つことは論理的に可能である。その理由は、カーコーティングが塗装を守る「犠牲被膜」の役割を果たしているからである。事実、10年以上の歴史を持つピュアキーパーを定期的に繰り返し施工してきた車で、とても10年以上経っているとは思えないような美しい車が数多く存在している。カーコーティングには定期的な繰り返し施工、正しいメンテナンスが絶対条件なのである。

新車を10年以上乗りたいと思っている人が増えている今、望まれているのは継続的な愛車の美しさであり、10年後まで美しく、塗装を維持できるカーコーティングだといっても過言ではないだろう。

## 定期的な繰り返し施工は、入りやすく、気軽に施工を頼めて待てる場所のある店舗で

しかし定期的な施工を行うたびに車を預けるのは、非常に面倒であり非現実的である。また施工が終わるまで待っている場所のない店舗で行うことも同様である。そのために定期的な施工を怠ってしまったら、何のためのコーティングか分からない。

コーティング本来の効果を得るための定期的な繰り返し施工は、身近にあり、入りやすく、快適に待つことができ、きちんとしたカーコーティングを施工してくれる店舗でやりたい。そんな店舗こそ10年後の愛車の輝きを維持してくれるだろう。

**新登場 1年キレイに楽になる**  
ノーワックス、ノーメンテナンスだから1年間洗車だけでOK。汚れにくいから洗車が楽になる。

**Crystal KeepPre** クリスタルキーパーコーティング  
ヨーロッパ最大のカーケミカルメーカー ドイツ **SONAX** と日本 **KeepPre** が共同開発。

**耐久力のガラスタイプ 1年ノーワックス、ノーメンテナンス**

**無機質ガラス被膜がベース、高い保護能力が特長。**  
クリスタルキーパー独自の無機質ガラスを塗装面上に形成して、保護能力の高いベース被膜を造ります。

レジンを被膜で二重構造、水シミ、雨ジミの固着を強力に防止。(特許出願中)ガラスのベース被膜の上を最新化学のレジンでさらにガード。強力な撥水を実現。さらにガラスコーティングの宿命「水シミ」「雨ジミ」「ウォータースポット」の風害を防止します。

ガラスとレジンのハイブリッド構造  
ガラスをベースにひくことで、深い艶が得られる。

レジンを被膜で二重構造、水シミ、雨ジミの固着を強力に防止。(特許出願中)ガラスのベース被膜の上を最新化学のレジンでさらにガード。強力な撥水を実現。さらにガラスコーティングの宿命「水シミ」「雨ジミ」「ウォータースポット」の風害を防止します。

【耐久期間】 コーティング被膜の耐久力は1年以上(ノーメンテナンス)  
【水弾き】 水を弾き、水玉になります(撥水)  
【特長】 高い保護能力と、ガラス特有の透明感のある艶  
【作業時間】 約2時間

●もう一つの選択  
**復活力のポリマータイプ**  
高密度のポリマー被膜で傷んだ塗装を蘇らせます。

【耐久期間】 コーティング被膜の耐久力は1年以上  
【水弾き】 水を弾き、水玉になります(撥水)  
【特長】 しっかりと艶と撥水を持たせます  
【作業時間】 約2時間

**最強の艶、5年耐久**

**Diamond KeepPre** ダイヤモンドキーパー ボディガラスコーティング

【耐久期間】 コーティング被膜の耐久力は5年以上  
【水弾き】 水を強烈に弾きます(強撥水)  
【特長】 ハイブリッド化により、水シミの付着を強力に防止  
【作業時間】 約6~12時間程度

**3ヶ月ごとのドラマティック**

**Pure KeepPre** ピュアキーパー ポリマーコーティング

【耐久期間】 コーティング被膜の耐久力は3ヶ月以上  
【水弾き】 水を弾き、水玉になります(撥水)  
【特長】 繰り返し施工することにより、塗装を良くします  
【作業時間】 約40分程度

**美しい発色、5年耐久**

**Aqua KeepPre** アクアキーパー ガラスコーティング

【耐久期間】 コーティング被膜の耐久力は5年以上  
【水弾き】 水を弾きません(親水性)  
【特長】 独特の素晴らしい発色。汚れにくい。  
【作業時間】 約6~12時間程度